

第一寮寮歌

- | | |
|--|--|
| 一. 香りも高きこの丘よ
年月送る同胞は
歴史降りたる一寮の
自覚と自治の伝統を
受けて伝えん四年世に
若き健児に幸ぞあれ
若き健児に幸ぞあれ | 二. 葉末の露に星屑の
玉と輝く星の夜の
校是の処長一寮の
自覚と自治の伝統を
受けて伝えん四年世に
若き健児に幸ぞあれ
若き健児に幸ぞあれ |
| 三. ああこの丘に集い来て
年月送る同胞は
歴史降りたる一寮の
自覚と自治の伝統を
受けて伝えん四年世に
若き健児に幸ぞあれ
若き健児に幸ぞあれ | 四. 香りも高きこの丘よ
若草匂う裏山の
薄紫の花影に
流れる雲を仰ぐとき
讃たる自由啓発の
四年世の春は若からん
四年世の春は若からん |